

| 年度  | 女性委員会あゆみ   |
|-----|--|
| H2  | 第1回全国女性建築士連絡協議会東京大会開催<br>青森県建築士会女性委員会設立  |
| H6  | 三内丸山遺跡「子供絵画展」ワークショップ   |
| H7  | 第1回「女性建築士フォーラム」開催（青森市）（公社）日本建築士会連合会女性委員会主催   |
| H12 | 青森県建築士会三沢支部 女性委員会設立  |
| H13 | 明るくて温かくて気持ちのいい家 『居心地のいい空間・みつけた！』<br>十和田市において小学生・高校生・建築士と共にWS<br>ブロック会の皆さんを交えてのシンポジウム開催   |
| H14 | 明るくて温かくて気持ちのいい家 『沼田さん家のいいものみつけた！』<br>沼田家の平面おこし調査から始まり、地元高校生・地元有志・建築士と共にWS<br>ブロック会の皆さんを交えてのシンポジウム開催  |
| H15 | 明るくて温かくて気持ちのいい家 『居心地のいい空間・みつけた！』<br>十和田市において小学生・高校生・建築士と共にWS<br>ブロック会の皆さんを交えてのシンポジウム開催   |
| H16 | 東北ブロック会青森大会開催（五所川原市）<br>全国大会愛知大会 屋台村に出店 『居心地のいい空間みつけた！』  |
| H17 | カラーコーディネート講習会開催 10/8   |
| H18 | 明るくて温かくて気持ちのいい家<br>『自然の恵みを暮らしの中へ～緑を活かし雪と仲良く暮らすために～』  |
| H19 | 第18回全国女性建築士連絡協議会青森大会開催   |
| H20 | 明るくて温かくて気持ちのいい家～連続講座1 インテリアコーディネート・石戸谷英子氏に聞く 6/21<br>～住む家と造る家について～<br>明るくて温かくて気持ちのいい家～連続講座2 7/13 八戸大会にて<br>明るくて温かくて気持ちのいい家～連続講座3 『木の家をつくる』 |
| H21 | 明るくて温かくて気持ちのいい家～連続講座1 DAIKOライティングセミナー 4/15<br>明るくて温かくて気持ちのいい家～連続講座2 介護保険制度について 9/26<br>青森市へ授乳室整備についての提案                                    |
| H22 | 明るくて温かくて気持ちのいい家～連続講座3 住宅エコポイント&長期優良住宅について 3/8  |
| H23 | 青森県十和田大会にて東日本大震災時のアンケート調査<br>東北ブロック会青森大会開催（三沢市、十和田市）<br>「あれから半年、3.11の東日本大震災への思いを…語る<br>～今、私たちができること。これから、私たちがやるべきこと～」                      |
| H24 | 全国大会山形大会 女性フォーラムに参加 『暮らしから未来を考える女性のフォーラム』  |
| H25 | 委員長 高橋 忍   |
| H26 |  |
| H27 | 委員長 斎藤 綾子  |
| H28 |  |
| H29 | 委員長 西澤 祐子 弘前城移設見学  |
| H30 | 委員長 西澤 祐子  |
| R01 | 委員長 西澤 祐子 全国大会女性フォーラム発表 お泊り研修会   |
| R02 | 委員長 西澤 祐子  |

H6



H16



H19



H23

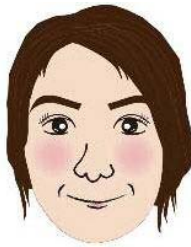


R01



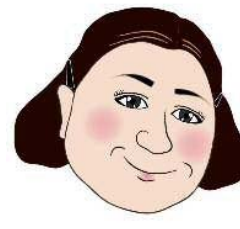
2代目委員長

委員長と長い間交流甚多道中でしたね、もう少し頑張ろうかあ・・・。



6代目委員長候補

好奇心旺盛で包容力大。



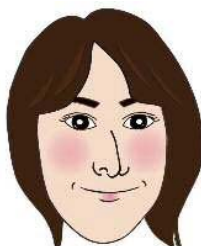
初代委員長

年々動きが鈍くなってきた。けど、出来るだけ続けたいなあ。



5代目委員長

設立からずっと副委員長として頑張ってくれた。引継ぎまでよろしくね。



設立時からの副委員長

助けが欲しい時、必ず戦力になる様の下力持ち。



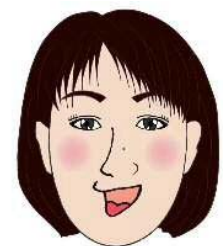
忙しすぎる委員

知識が豊富で青森には必要無人。



7代目委員長候補

若い力、充分に発揮して、青森を任せます。



おとなしすぎる委員

おとなしすぎるけど、戦力になる人。



# 芝棟 調査

# 花咲プロジェクト



絶滅危惧種の建築である芝棟。その魅力を伝えるために冊子の構想を温めていた時、震災があった。花咲プロジェクトは震災の3か月後に始動。資金となったのは、芝棟の冊子を介した協力金である。春と秋の訪問を継続すること7年。仮設住宅の住民の方達や保育園児と共に花を植え、交流を重ねた。仮設住宅の撤去が決まり、活動は終了。半年ごとに目にした復興過程は、私達の脳裏に深く刻まれた。

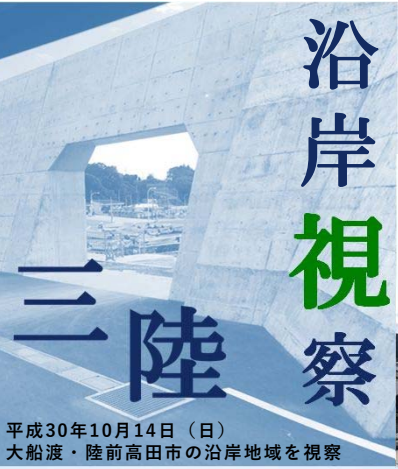
主旨に賛同し、ご支援・ご協力いただいた全国の支部の皆さんに、この場を借りて御礼申し上げます。

陸前高田の見学は、盛り土造成区域に建設された商業施設から、観光ボランティアの案内にて徒歩で行ける「ほんまの家」「まちなかテラス」を始め、高台からは居住禁止区域を眺め、今泉地区までマイクロバスで周る。ボランティアガイドさんのリアルな思いを聞けるいい機会だった。



昼食は碓氷海岸で海の幸を美味しくいただき、大船渡中心部へ向かう。途中、末崎地区の高齢者の賑わいの場「居場所ハウス」、バスの中から大船渡泊里地区防集団地、災害公営住宅などを見学。

「大船渡市防災観光センター」では職員の方より特別に説明していただく。BRTの大船渡駅に隣接するこの施設は、市民の集いの場、観光の拠点となる事を願って建てられている。ここからは歩いてすぐに商業施設もあり、景観条例により外観にも統一感がありいい街並みである。



# 沿岸視察

平成30年10月14日(日)  
大船渡・陸前高田市の沿岸地域を視察

この見学会は、大船渡防災観光センターの職員とのご縁が始まりとなり、気仙支部の女性委員の方々に計画を協力していただき素晴らしい見学会となった。実際に行ってみると、復興はまだまだ進んでいないように感じる。出来る限り、観光などで訪れて私たちも復興の後押しが...



BRT大船渡駅前



毎年4月の第2土日、盛岡市鉈屋町・大慈寺町界隈で行われている旧暦の雑祭り。通行手形(開催協力金)500円で鉈屋町・大慈寺町界隈約40軒の雑祭り会場を見学できる。約1~2万人程の見学者がある、比較的大きなイベントで、開催協力金は雑祭りに関する費用、盛岡町家保存活用や歴史的街並みの修景のために使われている。

建築士会盛岡支部の女性委員が中心に受付等のボランティア活動に参加してきた。



2020年は第16回目の参加でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。主催者は2003年に設立、地元住民と専門家を中心に活動を始めた団体である「特定非営利活動法人盛岡まち並み塾」



地域の大切な資源である文化や暮らし、歴史的まち並みや建築物等を守り、地域住民と共に、次世代の未来へつなげる活動を行っている。

尚、盛岡まち並み塾では法人運営活動に参加していただける「正会員」、および活動をご支援いただける「賛助会員」、イベント開催時などお手伝いいただける「サポーター会員」を随時募集しているとの事。

# 鉈屋町 旧暦の雑祭り

ボランティア活動



～平成30年度の総会～

岩手県花巻市にある昭和初期に建築された旧橋本家別邸を改修し喫茶店として活用している「茶寮かたん」が会場。

見学後の意見交換会では古い建物を残していくことの苦労話や、同じ建物でも人によって見る視点が様々で有意義な時間となった。

～令和元年度の総会～

岩手県金ヶ崎町にある明治時代の建物「旧陸軍省軍馬補充部六原支部官舎第一棟」、現在は「軍馬の郷六原資料館」を岩手県の事業として修復工事を行った事例についての講演。県の担当者より歴史的な背景や官舎の特徴、耐震性・現行法適合に対する話を聞く。

この時の懇親会は、盛岡市にある老舗料亭「京極」が会場でこちらも昭和初期に建てられた歴史的な魅力ある和の空間であった。



# 歴史的建物勉強会・見学会

岩手県建築士会では平成28年度から岩手ヘリテージマネージャーの講習と登録が始まり、女性委員会の会員のなかでも登録者が多数いる。

そこで最近では歴史的建造物を見学し、修復工事についての勉強会を開催している。



**「記憶の中の住まい」を  
あなたも再現してみませんか？**

昨日、今日、明日と時間が経つはずなのに、  
どかにもう戻れない場所が思い出されてきました。  
あれから年月経ても、その頃の心持は鮮やかに思い出されます。  
かつての暮らしを思い、空しく胸に刺さる思いがたしませんでしょうか。

何かのきっかけのために私達建築士がお手伝いできることとして、  
震災からまだ未だに思い出が鮮やかに残っている方を募集いたします。  
思い出と一緒に建築計画を一緒にしなごう。過去の暮らしを記憶の中から取り出し、  
思い出を再現するプランの1ページにしてほしいのですが、  
建築計画には専門的な知識や設計にも、思いがたつたものを思い出します。  
建築にはもう建築家でもありません。建築家は思い出と一緒に思い出します。  
住まいの形は戸建て、アパートも問いません。  
「思い出したい」と思っておられた方は、お手をどうぞ。

ご希望の方は、下記、宮城県建築士会まで、ご連絡ください。

022-298-8037



**傾聴の効果**  
震災後、当時の想いを胸に  
詰め込んだままの方に、流されて  
しまった家の思い出を聞く  
ことへの躊躇があった。当時を  
思い出すことも辛いに違いない。  
しかし、想いを言葉にして、  
それを第三者が傾聴することは、  
心を軽くすることだった。  
話すことで、先に進める。震災  
後、足を向けることができな  
かった 沿岸部へ行けるよう  
になった方もいらっしゃった。



## 記憶の中の住まいプロジェクト



海辺での「少し不便だけれど、豊かな暮らし」  
そんな暮らしがあったことをしっかりと記録したい。  
その記憶を次世代に引き継ぐお手伝いをできれば・・・  
と、思っ、このプロジェクトを行っています。

数名の建築士がグループになって聞き取りを行います。  
話しているうちに、昔の記憶がよみがえることも

自宅跡地で聞き取りを行い、当時の思い出をお話していただけます。



主屋：明治14年建築



隠居屋：昭和29年新築



敷地内にはタブの木の  
大木に囲まれた旧墓地や畑・納屋などがあります。

## 国登録有形文化財 臣屋阿部家住宅主屋・隠居



3世代共同作業の障子貼



空窓清掃



隅々までこつこつ清掃中



小屋裏調査

3.11震災後に解体を阻止すべく、  
離島の古民家再生プロジェクトがスタート。  
調査を経て、平成26年から1回の  
『お掃除ボランティア』活動を開始し、  
令和元年9月10日国登録となりました。



志津川東地区内  
震災の津波によって、立ち枯れた巨大な杉並木を使って建設されたあさひ幼稚園。敷地の高低差が6m余りある傾斜地に建つ構造デザインに一同圧巻！



志津川東地区内  
大屋根を支える木フレームは耐火集積材を使って建築された南三陸病院・総合ケアセンター。南三陸町職員の案内で普段は入れない機械室なども見学！みんな構造に興味

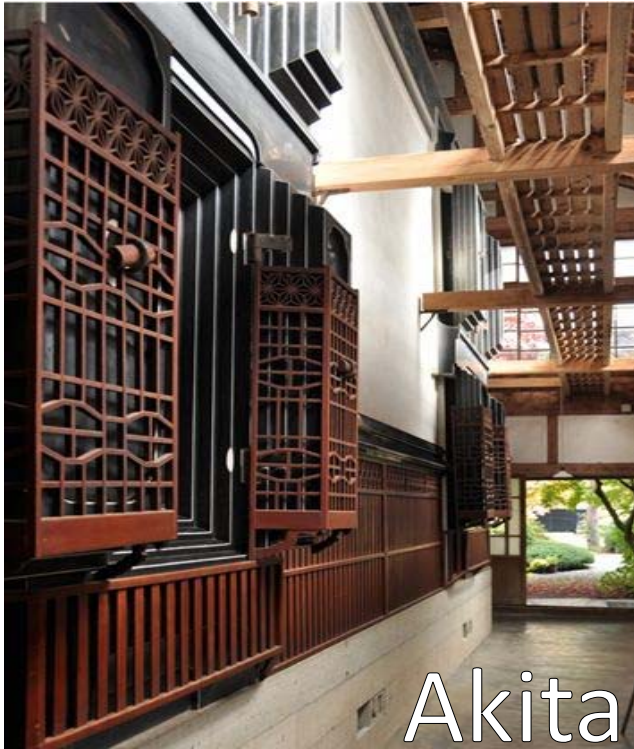


## 青年の集いお泊り研修会

毎年様々な年代が建築士という名のもとに集まる研修会。  
老若男女がそれぞれの時代の建築物の学びを得る2日間です。  
2019年は復興へ向けて歩みを続ける見どころ満載の  
南三陸のまちを歩きました。



建築士のための会から  
地域のための会へ **変化の10年**



Akita

2010 ~ 2020  
change & rediscovery

残す+守る

住み継ぐ者を失い維持することが難しくなった古き伝統ある建築物たち  
その建築物の持つ価値と役割を終えた建築物も、「再生」によって地域が  
生まれ変わり・支える拠点となることを情報発信し、人材育成と次世代へ  
の技術継承に取り組む



添う+支えあ

30周年を迎えこれまでの軌跡を振り返り、  
ここからまた新たな道標を創り  
共に歩み続ける



知る+活かす

「女性委員会だより」は会員どうしの情報共有に  
役立てると共に、地域・社会へアピールしていく



継ぐ+育む

昨年で15回目を迎えこれまで150以上の個性  
あふれる「気持ちのいい家」が完成した  
この事業に参加された親子の絆が深まり、  
やがて子供たちが社会人となり、地域の建築  
に係る人材となってくれることを期待し、みんな  
で育んでいく



Y A M A G A T A



山形県建築士会女性委員会では  
発足当初より継続していた事業を一新し  
平成31年より『建築女子フォーラム』を開  
催しました。記念すべき第1回は、県内で  
136年ぶりの建設となる、天童市常安寺五  
重塔の見学会です。

同年開催された東北ブロックでの事例発表  
として、この五重塔を紹介させて頂いた事  
も重なり、県内はもちろん、東北各地より  
多くの方々にご参加頂き大盛況に終わる事  
が出来ました。

その他にも様々な活動をおこなっており  
ます。

会報『あれこれ』にまとめ、県内全会員に  
配布し女性委員会の活動をアピールして  
おります。山形県建築士会のホームページ  
から見る事ができますので是非ご覧ください。

山形県建築士会

検索

山形日和

## 建築女子フォーラム





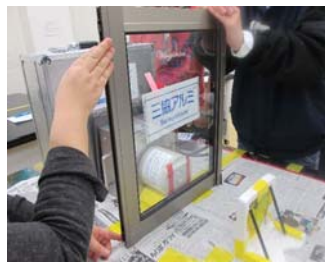
「考えよう！明日を担う子供達のための住まいづくり」冊子作成

2011年3月11日の東日本大震災、そして福島第一原子力発電所事故。いまだ放射線への被爆リスクと向かい合いながらの生活が続く中で、子供達が多く時間を費やす住環境を改善し、少しでも被爆リスクから遠ざけることが、福島県にいる建築士がやらなければならない事だと考え、2014年に本冊子を発行しました。



遮蔽試験の様子

試験場所：福島県郡山市  
国際情報工科大学校  
2013年（H25）10月 8日  
2014年（H26） 4月17日



エコガラス  
ペアA12 スーパークリア ガス有り



窯業系サイディング  
ニチハ モエンアート t=35



断熱材  
アサヒファイバーグラス 一般14K t=85

モックアップ試験体での実験の様子

試験場所：福島県南相馬市  
福島第一原発から15km  
2014年（H26）5月27日～8月17日



2014.05.27  
放射線建物モデル試験の様子 測定



2014.08.02  
放射線建物モデル試験の様子 測定



2014.08.17  
放射線建物モデル試験の様子 撤去後の測定

1年に一度の「女性建築士のつどい」1990年から始まり毎年開催されています。

第30回記念大会開催・記念誌の発行

2019年に30周年を迎え、1990年からのつどい開催年表・歴代委員長からの祝辞、そして活動報告を冊子にまとめました。

表紙



背表紙／編集後記



つどいの内容

各支部の活動報告からはじまり、講演や建物見学会などを経て、夜間の部「懇親会」へ。懇親会は各支部の余興もありとても盛り上がります。



2016年  
懇親会／郡山市 余興



2017年  
建物見学／猪苗代町 猪苗代ギャラリー



2018年  
建物見学／会津若松市 福西本店



2019年  
祈禱／須賀川市 神炊館神社